

公益財団法人 横浜市観光協会
令和 7 年度事業報告

目次

令和7年度重点取組	P3
-----------	----

【重点1】 観光・MICE 都市横浜のブランディング

【重点2】 エリア間連携による回遊促進

【重点3】 戦略的セールスプロモーション

【重点4】 観光マーケティングの活用促進

令和7年度事業

1. ブランディング事業	P4・5
2. 観光振興事業	P5・6・7
3. MICE 振興事業	P7・8・9
4. 観光・MICE 人材育成事業	P10
5. マーケティング・プロモーション事業	P11・12
6. 賛助会員事業	P12・13

横浜 DMO 推進計画 2026-2029 策定	P14
--------------------------	-----

令和7年度 重点取組

【重点1】 観光・MICE 都市横浜のブランディング

「GREEN×EXPO 2027」を見据え、横浜の「花」に関連する様々な取組と都心臨海部の象徴である「港」を掛け合わせ、「花の港」をテーマに、観光・MICE 都市としての認知度向上や来訪促進を目的としたブランディング事業を新たに開始しました。

- (1)「花の港」ブランディング事業……………P4
- (2)横浜アニバーサリー事業「YOKOHAMA PRECIOUS FLOWERS」の推進……P5
- (3)横浜の夜を彩る花火「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS」の推進……………P5

【重点2】 エリア間連携による回遊促進

大型集客施設等の集積や、港と街が近接する都心臨海部の魅力を活用し、集客力が高いコンサート、エンターテインメント等のイベントおよび経済波及効果の高い MICE 等の来訪者の市内回遊性の向上や消費活動を促進しました。都心臨海部をはじめとするエリア間のつながりを深め、回遊性を高める仕掛けづくりに取り組みました。

- (1)市内イベント等を活用した回遊・宿泊促進……………P5
- (2)大型観光キャンペーンの推進……………P6
- (3)市内回遊を促進するアフターコンベンションの取組強化……………P9

【重点3】 戦略的セールスプロモーション

マーケティングに基づいた市場分析や集積データを活用し、国内外に向けて横浜の魅力を発信する戦略的プロモーションを推進しました。ターゲットに合わせた訴求力の高い情報を発信することで、宿泊回遊を促進し、観光消費額拡大を図りました。

MICE におけるサステナビリティの取組を強化することで、開催地としての価値を高め、国際会議の誘致に繋がりました。

- (1)インバウンド獲得に向けたセールスプロモーションの推進……………P6
- (2)MICE におけるサステナビリティの取組・情報発信強化……………P9

【重点4】 観光マーケティングの活用促進

地域の牽引役である DMO として、観光データ収集や分析により、幅広いステークホルダーが活用できるよう、これまでの「YCVB 観光データダッシュボード」を改修し、「横浜観光データナビ」として、新たに公開しました。

また、分析結果を共有するセミナーやワークショップを開催することで、連携事業の創出や地域の課題解決に取り組みました。

- (1)観光・MICEのデータ収集及び分析機能の強化……………P11
- (2)横浜の観光・MICE 活性化に向けた理解促進……………P11

令和7年度事業

(1)「花の港」ブランディング事業【新規・重点1】

- 横浜の象徴である「港」と「花」をテーマとした「花の港」事業において、統一的な演出を展開
1. **観光・イベント事業**
横浜市の認知向上および来訪促進に向けたブランディングを推進しました。10月にはメディア発表会を実施し、市内事業者とのコラボレーション企画として周遊モビリティ等への花のインスタレーション(フラワークルーズ、フラワーエアキャビン)を実施。また、「GREEN×EXPO 2027」開催1年前の3月を「花の港月間」と位置づけ、様々な市内事業者と連携し街中を花で彩りました。その他、花の移動式観光案内所「YOKOHAMA FLOWER BASE」を商業施設やイベント等に設置し、地域とともに盛り上げに貢献しました。

ア メディア発表会 [10月30日]

- ・花のインスタレーションを展開
 - 「フラワークルーズ」
 - 「フラワーエアキャビン」
- ・移動式観光案内所「YOKOHAMA FLOWER BASE」
- ・メディア露出実績 38件
 - テレビ1件、ラジオ1件、新聞3件、WEB33件

イ 花の港月間

- ・花のインスタレーションを展開
 - 「フラワーエアキャビン」
 - 「フラワースポット」
- ・移動式観光案内所「YOKOHAMA FLOWER BASE」
- ・「花の港ドーナツ」の販売
- ・「花の港写真展」
- ・「トウクトウク」をあしらったオリジナルデザインフラワーバッグでの花配布
- ・水上バス「シーバス」乗り場の特別装飾

≪資料1「花の港」ブランディング事業実施実績≫



YOKOHAMA FLOWER BASE



フラワークルーズ



トウクトウクとコラボした
フラワーバッグ

(2)横浜アニバーサリー事業「YOKOHAMA PRECIOUS FLOWERS」の推進【重点1】

「記念日に訪れたい街・横浜」のイメージ浸透を目的に、夫婦・カップル等をメインターゲットとしたブランディングプロモーションを実施しました。あわせて、「花」や横浜ならではの観光資源を活用した体験コンテンツ「ふたりだけの特等席」や宿泊プランの企画・造成を行い、その結果、対象プランの販売件数は200%、利用者数は288%前年比増加し、付加価値の高い体験の販売拡大につながりました。また、特設WEBサイト閲覧者数およびSNS投稿のリーチ数は合計313万を超え、記念日需要の喚起による来訪促進に寄与しました。そのほか、体験イベントも実施しました。

ア SNS フォロワー数 約 4,300

イ 体験イベント:1/31(愛妻の日)、2/14(バレンタインデー)、3/14(ホワイトデー)

(3)横浜の夜を彩る花火「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS」の推進【重点1】

横浜港の夜を彩る5分間花火の名称を令和7年4月から現名称に変更しました。更なる販促の創出やナイトタイムエコノミーの活性化を目指し、市内イベントの開催等に合わせて打上げを実施しました。うち、2回については、緊急時を想定した訓練を実施し、安全性を確認したうえで花火を打ち上げました。

さらに11月からは「GREEN×EXPO 2027」の会期まで(2027年9月26日)を連携キャンペーン期間と位置づけ、「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS × GREEN×EXPO 2027」をキャンペーン名称としています。花と緑をテーマとした花火を中心に打ち上げ、国際園芸博覧会開催の機運醸成を図っています。

・打ち上げ回数:年間延べ25回



《資料2 打上げ実績》

2. 観光振興事業

(1)市内イベント等を活用した回遊・宿泊促進【重点2】

コンサート、エンターテインメント等の多くの来訪者が集まるイベント等と連携し、フォトスポットの設置や限定ノベルティの配布など、イベント来訪者を街全体へと誘導する仕掛けづくりを進めました。滞在時間の延伸や消費額の増加を図るとともに、来訪者の満足度を高める魅力創出となっています。さらに、横浜デジタルMAP等を活用しながら地域と一体となった取組を推進しました。

ア 市内イベント等を活用した回遊施策:16件実施

【一例】

・STAR WARS DAY YOKOHAMA MINATOMIRAI 2025 [4月26日~5月6日]

・パウ・パトロール ハロウィンアドベンチャー in よこはまベイ [9月19日~10月13日]

・EVANGELION シリーズ 30 周年×YOKOHAMA [1月30日~2月24日]

イ 横浜デジタルMAP等を活用した回遊施策:7件実施

《資料3 市内イベント等を活用した回遊・宿泊促進策実績》

《資料4 横浜デジタルMAPを活用した回遊促進策実績》

(2)大型観光キャンペーンの推進【重点2】

神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン推進協議会に参画し、「GREEN×EXPO 2027」や都心臨海部を拠点とした広域的な回遊性向上に繋がるよう、横浜の観光コンテンツやイベント情報の提供を行いました。

(3)インバウンド獲得に向けたセールスプロモーションの推進【重点3】

横浜への来訪者数の多いアジア市場(中国・台湾・韓国)および米国市場を重点市場とし、個人旅行者向けにOTA(オンライン旅行会社)や公式観光サイト「横浜観光情報」、SNS を活用したデジタルプロモーションを実施しました。

また、旅行会社等に向けては、国内外で開催された商談会に参加し、「GREEN×EXPO 2027」の最新情報をはじめとした観光情報を提供しました。市内事業者との共同出展を通じて地域一体となったプロモーション体制を強化し、横浜への来訪促進に寄与しました。

さらに、日本政府観光局(JNTO)に協力し、2026年秋に開催される「カナダ旅行業協会総会」の誘致を行い、横浜開催が決定しました。

ア OTA を活用したデジタルプロモーション

・米国向けキャンペーン(8月～11月実施)	送客数 10,849人
・中国向けキャンペーン(7月～10月実施)	販売宿泊数 33,470泊
・台湾・韓国向けキャンペーン(10月～12月実施)	予約件数 5,948件

イ 商談会・セミナー等への参加:17件

ウ 海外誘客 メディア・旅行会社等受入:10件

《資料5 海外誘客 OTA等を活用した戦略的デジタルプロモーション実績》

《資料6 海外誘客 商談会・セミナー等参加実績》

《資料7 海外誘客 メディア・旅行会社等受入実績》

(4)国内誘客プロモーションの推進

「YOKOHAMA PRECIOUS FLOWERS」や「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS」を核とした「花の港」ブランディング事業および、「日本新三大夜景都市」に選出された夜景コンテンツのプロモーションを強化しました。

また、AichiSkyExpo(愛知県国際展示場)にて開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2025」への出展により、一般来場者へのプロモーションに加えて、旅行会社に対するセールスや、メディアおよびインフルエンサーによる掲載・露出を獲得し、国内外における認知向上に寄与しました。

さらに、「GREEN×EXPO 2027」を契機とした教育旅行の誘致に向け、全国の学校・旅行会社に対するセールス活動を市内事業者とともにを行い、成約につなげました。

ア ツーリズム EXPO ジャパン 2025 での商談件数:31件

[9月25日・26日]

イ ツーリズム EXPO ジャパン 2025 ブース来場者数:6,678名

[9月25日～28日]

《資料8 国内誘客 教育旅行セールス実績》



(5)受入環境整備/観光案内所の運営

横浜駅と桜木町駅に設置・運営する観光案内所で、国内外からの来訪者の利便性、滞在中の満足度の向上につながる情報を提供しました。また、新横浜駅は、DX 強化のため AI チャットボットによる運営を継続しています。

《資料 9 観光案内所利用実績》

(1)MICE 誘致に向けた国内外セールスプロモーション

3. MICE 振興事業
国際会議等の開催件数増加と「MICE 都市横浜」の認知度向上のため、国内外で開催された商談会・トレードショーに出展しました。大学・研究機関や学会・協会への個別セールスを実施し、キーパーソンとのネットワークを拡充しました。

また、公式 Web サイトや SNS 等を通して横浜で MICE を開催する優位性や魅力を発信しました。

ア 商談会でのセールス 4回

- ・日本:第35回国際 MICE エキスポ(IME2026)
- ・海外:IMEX Frankfurt 2025(於:フランクフルト)
- IBTM World 2025(於:バルセロナ)
- AIME 2026(於:メルボルン)



IMEX Frankfurt 2025

《資料 10 MICE 誘致 商談会セールス実績》

イ 大学・研究機関を対象としたセールス

- ・市内主要大学での誘致支援サービス説明会開催

(横浜国立大学、横浜市立大学／誘致支援サービス資料提供:神奈川大学)

ウ 大型国内医学系会議の主催事務局へのセールス

【参考】令和7年度誘致実績 主な案件(開催規模:会議参加者数 1,000 人以上)

医療系大型国際会議 1件 (2027年／2,000 人規模)

工学系大型国際会議 2件 (2027年・2031年／各 1,000 人規模)

(2)国内外キーパーソンの視察受入や招請、海外ネットワークの拡充

会議主催者や PCO(会議運営会社)等の横浜視察を受け入れました。また、誘致のためのノウハウを主要 MICE 都市の成功事例から学ぶとともに、人的ネットワーク構築に向け、MICE 業界の交流や技術向上を目指して活動する国際会議協会(ICCА)の総会に参加しました。

ア 誘致中大型国際会議視察受入: 5件

イ ICCA(国際会議協会)総会参加(於: ポルトガル・ポルト)

(3)キーパーソンを対象とした会議誘致・開催支援制度【新規】

横浜へコンベンションの誘致・開催を計画している学会や主催者等のキーパーソンを対象に誘致活動や会議開催を支援する制度を新設しました。キーパーソンとのネットワークを強化することで、より戦略的にコンベンション誘致を推進しました。

≪資料 11 キーパーソン誘致・開催支援助成金実績≫

(4)横浜市内開催会議統計調査

日本政府観光局(JNTO)や ICCA が発表する国際会議統計は、MICE 都市の実力を評価するひとつの指標となっています。市内での開催実態をより正確に把握するため、MICE 関連事業者や団体の協力を得て情報を収集し、JNTO および ICCA へ各基準を満たす国際会議の情報を提出しました。

また、財団が保有する調査データ等と併せて分析し、その調査結果を「横浜市内開催コンベンション調査報告レポート」として公表することで MICE 開催意義の理解促進を図りました。

ア 国際会議統計

横浜開催件数(2024年統計):JNTO 国際会議統計(令和7年12月公表)

- ・参加者総数 21.3 万人(国内1位)
- ・開催件数 103 件
- ・ICCA 統計 14 件 (令和7年5月公表)

2025 年統計: 第1回調査(8月~9 月)、第2回調査(12 月~令和8年1月)実施

イ 横浜市内開催コンベンション調査報告レポート

(詳細版・概要版)発行



詳細版



概要版

(5)MICE 開催支援

市内事業者のビジネス機会の創出、受注増加を促進するため、横浜で開催される持続可能な調達に取り組むコンベンションを対象に助成金制度を運営しました。また、海外事業者主催のミーティング及びインセンティブへの支援サービスも実施しました。市内ボランティア団体との連携により、大型国際会議での観光案内デスクを運営し、おもてなしを提供するとともに、MICE への市民参画を図りました。

ア 横浜コンベンション開催支援助成金 (支援件数: 37件)

イ 海外ミーティング&インセンティブ開催応援プラン (支援件数: 2件)

ウ 大型国際会議における観光インフォメーションデスク設置 (5件)

≪資料12 MICE 開催支援実績≫

(6)企業と連携したビジネスマッチングの場の創出

MICE 主催者等を対象に、横浜らしいコンテンツやサービス等を紹介し、市内事業者との商談会を実施するイベント『YOKOHAMA MICE SHOWCASE 2026』を企画・運営しました。

また、パシフィコ横浜で開催される大型国際会議に併設される展示会に横浜ブースを設置し、研究分野で親和性の高い市内事業者と共同出展を行うことで、ビジネスイノベーションの創出に貢献しました。

ア YOKOHAMA MICE SHOWCASE 2026 の企画運営 [令和8年2月19日]

- ・来場登録者数 123名、当日来場者数 94名、商談会出展者数 34 社
- ・モニターツアー:横浜中華街ガイド付きフードツアー

サステナブルコンテンツツアー

ユニークベニュー訪問

会場：パシフィコ横浜ノース(最新コンテンツ発表／展示・ワークショップ／商談会)
Shiseido Beauty Park(交流会)

- ・カーボンオフセット：YOKOHAMA MICE SHOWCASE 2026内で排出されるCO²をオフセットし、環境に配慮した MICE を開催。



YOKOHAMA MICE SHOWCASE 2026

イ 横浜市内企業共同出展

- ・2025 IEEE NSS MIC RTSD
会期:11月1日～8日（展示会会期:11月4日～6日）
会場：パシフィコ横浜ノース
共同出展:2社



(7)市内回遊を促進するアフターコンベンションの取組強化【重点 2】

コンベンション開催による域内経済波及効果の最大化を図るため、現地参加者数の増加と市内回遊促進の取組を強化しました。横浜でのコンベンション参加前および会期中に横浜の観光情報等に触れる機会を増やし、参加者の消費額拡大に繋がりました。

また、参加者向け体験プログラムをサステナブルな視点で改訂しました。

ア 現地参加意欲向上につながる参加者向けオンライン広告配信(会期前／対象会議4件)

イ 市内回遊促進につながる現地広告掲出(会期中／対象会議5件)

ウ MICE 参加者向け市内回遊促進メニュー改訂(4本)



参加者向けオンライン広告配信

≪資料13 MICE 参加者向け市内回遊促進メニュー改訂≫

(8)MICE におけるサステナビリティの取組・情報発信強化【重点 3】

主催者が開催都市を選定する際、都市のサステナビリティへの取組を重視する傾向がみられます。MICE 開催地として選ばれるため、市内事業者と連携しながら情報発信を行い、その発信の状況を把握・分析しました。

また、横浜市観光協会として、横浜市内の地域コミュニティとの連携などが評価され、横浜市 SDGs認定制度「Y-SDGs」上位認証の Superior を取得しました。

ア サステナビリティ情報発信強化(LinkedIn 投稿、サステナブル情報・サプライヤー拡充)

イ サステナビリティ情報発信効果測定(ウェブサイトおよび LinkedIn での発信効果測定)

- (1)観光・MICE ビジネス講座の企画運営
- MICE ビジネスの裾野拡大及び人材育成・実践的なノウハウの習得を目指し、市内事業者を対象に「MICE ビジネス講座」を開催しました。MICE ビジネスの基礎からサステナビリティ、海外との商取引に関する知識や英語プレゼン能力等、実務に即したテーマを幅広く取り上げ、会議主催者のニーズに合った提案能力など実践力を磨きました。
4. 観光・MICE 人材育成事業

- ・MICE ビジネス講座 セミナー(1回)
[7月25日]
- ・MICE ビジネス講座 基礎編(2回)
[9月12日、10月17日]
- ・MICE ビジネス講座 実践編(3回)
[11月18日、12月4日、12月16日]



《資料14 MICE ビジネス講座開催実績》

(2)横浜の観光・MICE における産官学連携の推進

観光人材育成のため、市内大学の課題解決型学習(PBL:Project Based Learning)に協力しました。神奈川大学国際日本学部高井典子研究室が主体となり、花升本工社寺建築株式会社との連携のもと、「宮大工文化の継承」をテーマに実施しました。宮大工文化の次の担い手となる子供たちを対象に、宮大工の歴史や技術を体験してもらうイベントを学生自らが企画し、実際に販売する営業活動も行いました。

ア 親子限定イベント

「お正月飾りに！結ベ！ 宮大工と一緒に
職人チャレンジ！」[12月6日]

イ 最終報告会 [2月10日]



(3)受入環境整備のための人材育成の推進

市内事業者には障害を持った顧客へのコミュニケーションやサポートに関する研修及びユニバーサルツーリズムの最新情報を提供するため、セミナーを企画実施しました。本研修では、バリアフリー旅行の豊富な経験とノウハウを持つ講師が、車いす体験を通して、どのようなサポートや声かけが必要とされているかを分かりやすく解説し、参加者からは新たな気づきがあったと評価をいただきました。

- ・第1回ユニバーサルツーリズム研修 [7月2日]
- ・第2回ユニバーサルツーリズム研修 [9月21日]

《資料15 ユニバーサルツーリズムセミナー開催実績》

(1)観光・MICEのデータ収集及び分析機能の強化【重点 4】

年間を通じて様々な調査を実施し、収集した観光・MICE データを幅広いステークホルダーが活用できるようにするため、これまで公開していた「YCVB 観光データダッシュボード」を改修し、新たな「横浜観光データナビ」として、5月1日より正式に公開しました。市内を 12 のエリアに分割し、各エリアにおける来訪者数やインバウンド属性等、横浜観光に関するデータを毎月更新しています。また、同情報をタイムリーに賛助会員のみなさまに提供するため、令和8年2月よりマンスリーレポートの配信を開始しました。



ア 横浜港発着クルーズ船インバウンド客アンケート調査

【10月～11月】

イ 在日外国人向け調査【1月】

ウ 横浜来訪実態調査【2月】

エ 横浜来訪促進に向けた海外市場インタビュー調査【2月～3月】

オ タイ人向け「GREEN×EXPO 2027」に係る訪日観光に関する調査【3月】

(2)横浜の観光・MICE 活性化に向けた理解促進(セミナー、ワークショップの開催)【重点 4】

横浜 DMO として、観光・MICE の現状や地域のトレンド、課題、今後の展望等を共有し、市内事業者の事業発展の一助となることを目的に、横浜の観光・MICE に関わる様々なデータを共有する観光・MICE ミーティング(2回)およびワークショップ(2回)を開催しました。クルーズ観光をテーマとしたワークショップでは実際に、クルーズ乗客向けの宿泊プランなどの造成につながりました。



ア ワークショップ【8月27日、12月17日】

イ ミーティング【1月28日、3月27日】

《資料 16 DMO 推進関連ミーティング・ワークショップ開催実績》

(3)DMO におけるマーケティング人材の育成

観光 DX を軸に職員のスキル向上を図るため、オンライン学習サービスを活用し、マーケティングや情報発信等に関する実務能力の向上に努めました。あわせて、外部有識者を招き、横浜 DMO の立ち位置や課題、強み等について議論を行い次期中期計画の策定に活かしました。

・ワークショップ(1回)【11月28日】

・ワークショップ(2回)【12月12日】

・ワークショップ(3回)【3月27日】

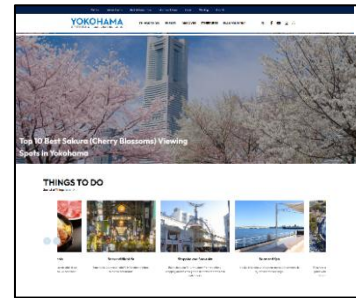
(4)公式 Web サイト「横浜観光情報」の運営による横浜の魅力発信

公式 Web サイト「横浜観光情報」において、観光スポット、イベント、飲食、宿泊、交通アクセス等、観光に必要な情報を日本語および多言語(8言語)で発信しました。

賛助会員をはじめ関係事業者からの情報を基に、季節や検索トレンドに合わせた特集や最新情報を掲載。外国語ではトップページのデザイン刷新を行いました。イベント情報ページなどが最も閲覧数が高く、PV・ユニークユーザー数は前年度比約120%を達成。来訪意欲喚起、認知度・回遊性の向上につなげました。

また、「日本新三大夜景都市」に選出されたことを契機とし、夜景特集や夜景の見えるホテル特集、「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS」鑑賞スポット特集を新たに作成しました。

《資料 17 公式 Web サイトアクセス実績》



(5) SNS 公式アカウントの運営

横浜の公式観光アカウントである X (旧 Twitter)、Facebook (日本語・英語・繁体字)、Instagram、Weibo (簡体字)、Wechat (簡体字)、LinkedIn (英語) の 8 アカウントを運営しました。

また、「GREEN×EXPO 2027」の開催を見据え、中国市場への発信を強化すべく、中国系 SNS の「小紅書 (RED)」のアカウントを 9 月に開設。ターゲットの嗜好に合う発信により、フォロワー 1 万人を突破しました。



《資料 18 SNS を活用した情報発信実績》

(6) メディアリレーションの強化

オンラインのプレスリリースを 25 本配信。さらに、新たに財団広報誌「YCVB NEWS」を作成・発信し、財団事業の認知向上を目指しました。また、横浜の年間イベントカレンダーや開発状況をまとめた資料をメディアに共有し、メディアリレーションの強化に取り組みました。

・パブリシティ獲得実績 TV・ラジオ 7 件／新聞・雑誌 6 件／WEB 734 件

《資料 19 メディアリレーション実績 主な掲載・放送等》

6. 賛助会員事業

(1) 賛助会員交流機会の提供

ビジネスチャンスの創出につながる情報提供や交流機会の場として、会員交流を目的とした様々な会合を開催しました。



(2)賛助会員向け情報の発信

会員ニーズに対応した情報提供機会の創出のため、観光・MICE 関連情報を提供する従来の会員向けメールマガジンに加え、広報誌「YCVB NEWS」を年2回発行しました。
メールマガジンは、賛助会員の情報の発信機会としても活用されました(開封率平均44%)

(3)賛助会員アンケートの実施

賛助会員アンケートを実施し、会員の動向やニーズの把握に努めました。財団への期待や要望に関する意見が寄せられ、今後の取組の参考として活用します。

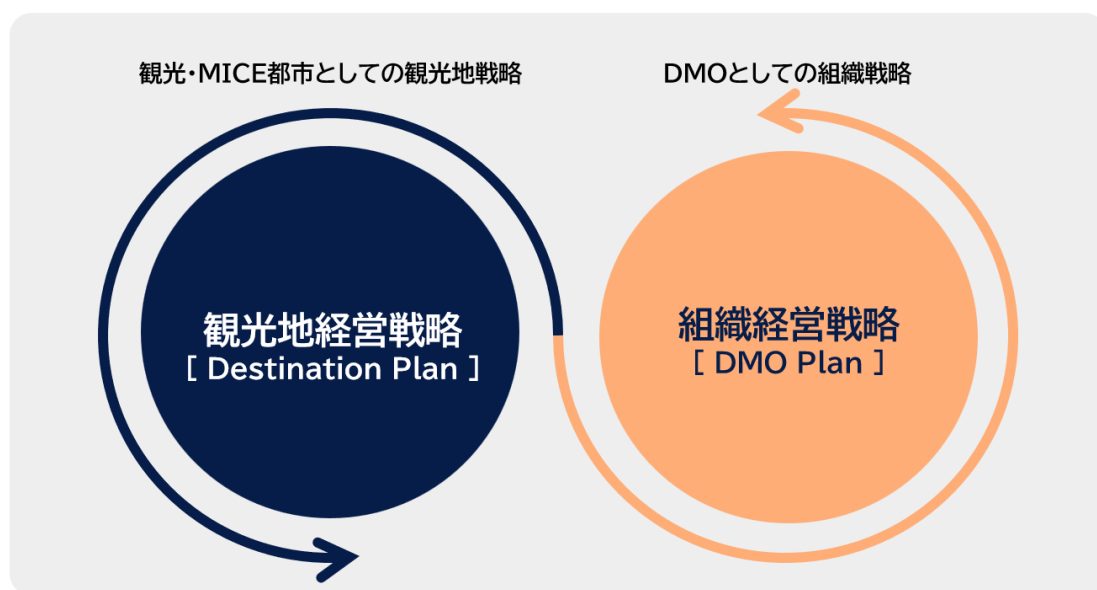
賛助会員向け事業一覧

【参考】会員数 633事業者(令和 8 年 3 月31日時点)
612事業者(令和 7 年 3 月31日時点)

会合種別	開催時期	具体的内容
令和 7 年度事業概要発表会 及び 賛助会員交流会	4 月 24 日	財団の令和7年度の事業計画、重点取組等の説明会及び交流会 参加者数:156 会員 254 名
観光・MICE ワークショップ	第 1 回 8 月 27 日 第 2 回 12 月 17 日	財団が独自に収集した情報・データなどを共有するワークショップ。1回目はクルーズ、2回目は横浜市観光協会観光データダッシュボードをテーマに実施 参加者数: 第1回 24 名 第2回 27 名
新規賛助会員向け事業説明会・交流会	第 1 回 9 月 9 日 第 2 回 2 月 20 日	新規入会賛助会員による自社 PR、既存会員との交流会 参加者数: 第 1 回 98 名 (うち新規会員 27 名) 第 2 回 116 名(うち新規会員 43 名)
若手・新入職員向け横浜観光研修	10月 9 日	賛助会員の若手・新入職員を対象とした市内施設視察、グループディスカッション、チームビルディング等 参加者数:29 名
会員の集い;講演会、優良従事者表彰及び賛助会員交流会	11 月 25 日	賛助会員への謝意を表す機会として、永年に亘り観光及び MICE の振興に功績のある方の表彰及び講演会、交流会 参加者数:277 名
観光・MICE ミーティング	第 1 回 1 月 28 日 第 2 回 3 月 27 日	財団事業と連動した観光・MICE に関するテーマでのフォーラムまたは賛助会員のビジネスチャンスにつながる情報提供機会 参加者数:第 1 回 55 名/第 2 回 91 名

横浜 DMO 推進計画 2026-2029 の策定

財団の中期計画として横浜 DMO 推進計画 2026-2029 を令和8年3月に策定しました。本計画は、観光地経営を実現する指針「観光地経営戦略」と DMO としての組織機能や経営基盤強化を図る「組織経営戦略」の2部構成としています。策定にあたっては、全職員によるワークショップなどを通じて議論を重ね、課題と取組を整理しました。それぞれの戦略に施策の柱を定め、今後4か年の取組の方向性や組織の目指すべき姿を明確化しています。2つの戦略を両輪で取り組み、観光・MICE 都市としてブランド力向上と市内経済活性化を推進していきます。



観光地として目指すべき姿

観光消費額 5,500 億円

観光・MICE 都市としてのブランド力を磨き、横浜での滞在価値を高めることによる、観光消費額の増加を目指します。

DMO として目指すべき姿

DMO の価値向上

横浜の観光・MICE における牽引役として、来訪者、事業者、行政・市民へのアプローチを通じて、DMO としての価値を高めます。

公益財団法人横浜市観光協会
令和7年度事業報告《資料編》

資料 No.	タイトル	ページ
資料1	「花の港」ブランディング事業実施実績	P16
資料2	「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS」打上げ実績	P17・18
資料3	市内イベント等を活用した回遊・宿泊促進策実績	P18・19
資料4	横浜デジタルMAPを活用した回遊促進策	P20
資料5	海外誘客 OTA等を活用した戦略的デジタルプロモーション実績	P20
資料6	海外誘客 商談会・セミナー等参加実績	P20・21
資料7	海外誘客 メディア・旅行会社等受入実績	P21
資料8	国内誘客 教育旅行セールス実績	P21
資料9	観光案内所利用実績	P22
資料10	MICE誘致 商談会セールス実績	P22
資料11	キーパーソン誘致・開催支援助成金実績	P22
資料12	MICE開催支援実績	P22・23
資料13	MICE参加者向け市内回遊促進メニュー改訂	P23
資料14	MICEビジネス講座開催実績	P24・25
資料15	ユニバーサルツーリズムセミナー開催実績	P25
資料16	DMO推進関連ミーティング・ワークショップ開催実績	P25・26
資料17	公式Webサイトアクセス実績	P26・27
資料18	SNSを活用した情報発信実績	P27
資料19	メディアリレーション実績 主な掲載・放送等	P27・28
資料20	DMOを対象とした国費の活用	P28

資料1 「花の港」ブランディング事業実施実績

名称	日時	内容	場所	来場者数
フラワーベース(移動式観光案内所)	10月4日、5日	「MM グラスパーク」と連携し、実施	グランモール公園	計 44,463 名
	10月11日、12日	「ワールドフェスタ・ヨコハマ 2025」と連携し、実施	山下公園	
	10月30日～11月3日	花の港イベントとして実施	日本丸メモリアルパーク	
	12月13日、14日	「みなとみらい Christmas Market 2025」と連携し、実施	グランモール公園	
	12月24日、25日	「BALLPARK Xmas YOKOHAMA KANNAI」と連携し、実施	横浜公園	
	2月14日	「吉田町ジビエフェスタ」と連携し、実施	吉田町	
	3月20日～3月22日	市内複数箇所に花で彩られたフォトスポットを計 7 か所展開。観光協会公式アカウントのフォロー及び写真投稿により、トウキョウトウキョウのデザインをあしらったオリジナルフラワーバッグ(花一輪入り)をプレゼント(各スポット・各日先着 100 名)。	3月20日 ・横浜駅西口幸川橋 ・横浜駅みなみ西口 ・BASEGATE 横浜関内 ・ランドマークプラザ3階 3月21日、22日 ・横浜駅東口はまテラス ・BASEGATE 横浜関内 ・ランドマークプラザ3階	
	3月28日、29日	「FLOWER GARDEN 2026」と連携し、実施	横浜赤レンガ倉庫	
フラワークルーズ	11月1日～11月3日	花で彩られたクルーズを運航。	ピア日本丸(運河周遊)	乗船者数: 19 便、433 名
フラワーエアキャビン	11月1日～11月9日・3月19日～4月5日	ゴンドラ内を花で装飾し、運航	YOKOHAMA AIR CABIN	限定 2 基 好評につき会期を1週間延長
花の港写真展	3月20日～3月22日	・「花の港」コンセプトストーリーの紹介。かつて横浜港から海外へ数多く輸出されていたユリ球根の主要な産地であった鹿児島・島根・沖永良部島産の「えらぶゆり」100 本を会場に展示。 ・写真投稿キャンペーン「『花の港』写真展」の入賞作品 27 点展示。	BankPark YOKOHAMA	874人

資料2 「YOKOHAMA NIGHT FLOWERS」打上げ実績

No.	開催日	打上時刻	打上場所	連携イベント
1	4月5日	20:00～ 20:05	大さん橋	・CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2025
2	4月6日	19:00～ 19:05	大さん橋	・CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2025
3	4月19日	19:00～ 19:05	新港	・YOKOHAMA GOGO DOG FES 2025 SPRING
4	5月17日	19:00～ 19:05	大さん橋	・2025 ワールドトライアスロン・パトトライアスロンシ リーズ横浜大会 ・横浜開港月間
5	5月24日	19:00～ 19:05	新港	・ハマフェス Y166 ・横浜開港月間
6	6月21日	19:30～ 19:35	新港	
7	7月5日	19:30～ 19:35	新港	
8	7月11日	19:30～ 19:35	大さん橋	【特別協賛】 ・「飛鳥Ⅱ」「飛鳥Ⅲ」横浜港に二隻入港 ・「飛鳥Ⅲ」命名式開催
9	7月12日	19:30～ 19:35	大さん橋	・『青春ブタ野郎はサンタクロースの夢を見ない』×横 浜市』
10	7月19日	19:30～ 19:35	大さん橋	【特別協賛】 真誓会納涼祭
中止	8月10日	19:30～ 19:35	大さん橋	・WTT チャンピオンズ横浜 2025 ・MOOMIN×YOKOHAMA「コラボレーション花火 特別観覧会 supported by 美和ロック」
11	9月6日	19:00～ 19:05	大さん橋	※緊急時を想定した緊急停止訓練の実施
12	9月14日	19:00～ 19:05	新港	※緊急時を想定した緊急停止訓練の実施 ・「映画キミとアイドルプリキュア♪お待たせ！キミに 届けるキラッキライブ！」
13	10月11日	19:00～ 19:05	大さん橋	・BAYWALK YOKOHAMA AUTUMN FESTIVAL2025 ・「SPY×FAMILY」 ・ワールドフェスタ・ヨコハマ 2025
14	10月25日	19:00～ 19:05	新港	・横浜マラソン(前日)
15	11月8日	19:00～ 19:05	新港	・YOKOHAMA NIGHT FLOWERS × GREEN×EXPO2027 (2027年9月まで)
16	11月22日	19:00～ 19:05	新港	・Christmas Market in 横浜赤レンガ倉庫

17	12月24日	19:00～ 19:05	大さん橋	・Christmas Market in 横浜赤レンガ倉庫 ・夜にあらわれる光の横浜<ヨルノヨ 2025>
18	12月31日	19:00～ 19:05	新港 大さん橋	・THE MOVEUM YOKOHAMA
19	1月24日	19:00～ 19:05	新港	・THE MOVEUM YOKOHAMA
20	1月31日	19:00～ 19:05	大さん橋	・THE MOVEUM YOKOHAMA
21	2月7日	19:00～ 19:05	新港	・「エヴァンゲリオン」
22	2月14日	19:00～ 19:05	新港	・「エヴァンゲリオン」
23	2月21日	19:00～ 19:05	大さん橋	・「横浜中華街の春節」「横浜春節祭」の”W 春節”
24	2月28日	19:00～ 19:05	大さん橋	・「横浜中華街の春節」「横浜春節祭」の”W 春節”
25	3月21日	19:00～ 19:05	大さん橋	・バイウォークマーケット 2026 ・「GREEN×EXPO 2027」1年前

資料 3 市内イベント等を活用した回遊・宿泊促進策実績

	名称	実施日	内 容
連携イベント	① # CENTRAL YOKOHAMA	4月1日～ 6日	桜木町駅前広場での消防音楽隊による楽曲演奏 ステージ設置:1件
	② STAR WARS DAY YOKOHAMA MINATOMIRAI 2025	4月26日～ 5月6日	フォトスポット(1か所)の設置
	③ 「推しプリンスアイスワールド」 in 横浜 2025	4月18日～ 5月11日	対象店舗の指定メニューの注文の方にオリジナル ステッカー(1,000枚制作)プレゼント
	④ 「パウっと開港月間×横浜 市」	5月3日～ 6月2日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベル ティ(ステッカー30,000枚制作)プレゼント ・フォトスポット(9か所)の設置 ・イベントマップ MAP 制作:50,000枚 ・ポスター制作 B1:20枚、B2:100枚、B3: 100枚、A3:10枚、A4:500枚
	⑤ 「氷艶 hyoen2025 -鏡 紋の夜叉-」コラボ企画	6月27日～ 7月7日	対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベル ティ(コースター2,000枚制作)プレゼント
	⑥ ピーターラビット TM フラ ワーセレブレーション in 横 浜	7月1日～ 8月31日	街中装飾(花壇制作:1件)
	⑦ 『「青春ブタ野郎はサンタク ロースの夢を見ない」×横 浜市』コラボキャンペーン	7月12日～ 7月27日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベル ティ(ステッカー32,500枚制作)プレゼントと全 種類コンプリートで限定ノベルティ(クリアファイ ル 5,000枚制作)プレゼント ・フォトスポット(6か所)の設置 ・ポスター制作 B2、B3、A3:100部、A4:各 200部

連携イベント	⑧『SPY×FAMILY「おでけ」大作戦 in 横浜・みなとみらい』	8月23日～10月13日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー54,000枚制作)プレゼント ・スタンプラリーで全箇所巡ると限定ノベルティ(缶バッジ5,000個制作)プレゼント ・フォトスポット(6か所)の設置 ・ポスター制作 B2:100部、B3、A3、A4:各200部
	⑨「Augusta Camp 2025 × YOKOHAMA “横浜を歩こう”」キャンペーン	8月29日～9月7日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー10,500枚制作)プレゼント ・フォトスポット(4か所)の設置 ・ポスター制作 B1:10部、B3:200部
	⑩映画キミとアイドルプリキュア♪お待たせ!キミに届けるキラッキライブ!×よこはま	第一弾: 9月5日～9月23日、 第二弾: 10月17日～11月3日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー24,000枚制作)プレゼント ・フォトスポット(12か所)の設置 ・イベントマップ MAP30,000枚制作 ・ポスター制作 (B1:10部、B3:200部、A4:50部)
	⑪BAYWALK YOKOHAMA AUTUMN FESTIVAL	9月26日～10月13日	動画制作(6本)
	⑫SHADOWVERSE WORLD GRAND PRIX 2025 横浜連動キャンペーン	12月19日～12月28日	対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー1,500枚制作)プレゼント
	⑬日本eスポーツアワード2025	12月26日～1月12日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー4,500枚制作)プレゼント ・ポスター制作:B3:50部、A4:1,000部
	⑭EVANGELION シリーズ30周年×YOKOHAMA	1月30日～2月24日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー53,900枚制作)プレゼント ・フォトスポット(1か所)の設置 ・イベントマップ MAP100,000部制作 ・ポスター制作:B3:700部、A4:700部
	⑮STPR Family × Yokohama コラボ	3月13日～3月29日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(チケット風カード100,000枚制作)プレゼント ・フォトスポット(29か所)の設置 ・ポスター制作:A4:300部、B1:30部、B3:200部
	⑯CENTRAL MUSIC & ENTERTAINMENT FESTIVAL 2026	3月27日～4月5日	・対象店舗の指定メニューの利用等で限定ノベルティ(ステッカー26,000枚制作)プレゼント ・ポスター制作:B3:300部、A4:300部

資料4 横浜デジタルMAPを活用した回遊促進策

連携施策名	開催期間
①ハマフェスレトロウォークスタンプラリー	5月10日～5月25日
②SPY×FAMILY コラボスタンプラリー【横浜のあちこちに隠れている『SPY×FAMILY』のキャラクター達を大搜索せよ！】	9月27日～10月13日
③こうぼくの商店街 ちよいより散歩デジタルスタンプラリー	11月1日～11月30日
④THE YOKOHAMA ILLUMINATION デジタルスタンプラリー	11月14日～2月28日
⑤春節 2026 スタンプラリー	1月20日～3月3日
⑥YOKOHAMA 区巡りデジタルスタンプラリー #00	2月7日～2月23日
⑦STPR Family×Yokohama デジタルスタンプラリー	3月13日～3月29日

資料5 海外誘客 OTA等を活用した戦略的デジタルプロモーション実績

対象市場	OTA	プロモーション期間	実績
中国	Ctrip	7月15日-8月13日 9月10日-10月3日	・ウェブサイト インプレッション数:871万回 ・キャンペーン期間消費額:38,800,000中国元 (≒8億44万円、1元20.63円換算) ・販売宿泊数:33,470泊
米国	Expedia	8月21日-11月30日	・ウェブサイト インプレッション数:364万回 ・広告経由消費額:約751,389米ドル (≒1億1,871万円、1ドル158円換算) ・広告経由送客数:2,790人 ・キャンペーン期間消費額:2,735,339米ドル (≒4億3,218万円、1ドル158円換算) ・キャンペーン期間送客数:10,849人
台湾 韓国	KLOOK	10月1日-12月31日	・ウェブサイト インプレッション数:2,200万回 ・キャンペーン期間消費額:約3,900万円 (台湾:2,786万円、韓国:1,114万円) ・キャンペーン期間予約件数:5,948件 ・新規商品造成数:35商品

資料6 海外誘客 商談会・セミナー等参加実績

商談会・展示会・セミナー	開催期日	会場	商談数・参加者数
「Cruise 360」JNTOと共同出展	4月22日-24日	米国・フォートローダーデール	38社
AISO 商談会	6月20日	東京	5社
上海旅行会社訪問セールス	6月23日-26日	中国	10社
JNTO クルーズセミナー	6月26日	米国・サンフランシスコ	38名
米国ホステージェンシーと連携したオンラインセミナー	8月12日	オンライン(米国)	11名
CITIE 商談会	9月11日	オンライン(中国)	6社
夜景サミット 2025in 台湾	10月1日-2日	台湾	15社
米国ホステージェンシーと連携したオンラインセミナー	10月10日	オンライン(米国)	10名
横浜観光 BtoB セミナーin 上海	10月24日	中国	12社
JNTO クルーズセミナー	11月1日	米国・ニューヨーク	40名

JNTO クルーズセミナー	11月3日	米国・フィラデルフィア	17名
JNTO クルーズセミナー	11月4日	米国・フォートローダー デール	25名
「Cruise World」 JNTO と共同出展	11月5日-7 日	米国・フォートローダー デール	238名
台湾旅行会社訪問セールス/ITF 商談会	11 月 5 日-6 日	台湾	30社
JNTO 中国市場向け訪日旅行促進商談会	2月3日	東京	9社
Japan Showcase	3月5日	米国・ロサンゼルス	94名
日中ツーリズムサミット商談会	3月6日	東京	14社

資料7 海外誘客 メディア・旅行会社等受入実績

国/地域/市場	日時	具体的取組
韓国	4月23日	韓国瑞山(ソサン)市公務員視察
米国/クルーズ	5月15日	JNTO/Princess Cruise/米国ホストエージェンシー 視察
米国/クルーズ	8月6日	ジャパネットクルーズ視察
メキシコ・スペイン など	10月24日	スペイン語圏インフルエンサー取材
米国	11月13日	米国ホストエージェンシー視察
米国	令和8年2月3日-5日	米国エージェント招請
クルーズ	令和8年2月24日-25日	スターナビゲーター視察
米国/クルーズ	令和8年2月24日	JNTO/Princess Cruise 視察
ブラジル	令和8年2月17日	ブラジル大手メディア「Veja」記者の取材
クルーズ	令和8年3月17日	ダイヤモンドプリンセス・クルー視察

資料8 国内誘客 教育旅行セールス実績

地域	日時	訪問件数
愛知県(豊橋市、岡崎市、名古屋市) 岐阜県(岐阜市)	6月9日-6月12日	18社
北海道(苫小牧市、札幌市、旭川市)	7月22日-7月25日	19社
山梨県(甲府市) 福島県(郡山市、福島市) 宮城県(仙台市)	9月2日-9月5日	19社
大阪府(大阪市)	9月28日-9月29日	5社
群馬県(高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生 市、太田市、館林市) 栃木県(下野市、宇都宮市)	12月8日-11日	19社

資料9 観光案内所利用実績

所在地	利用者実績		前年度比	
	令和7年度	令和6年度	差異	割合(%)
横浜駅	87,877名 (うち外国人 13,042 名)	81,539 名 (うち外国人 13,350名)	6,338名	107.7%
桜木町駅	202,989名 (うち外国人 8,953 名)	199,054 名 (うち外国人 7,749 名)	3,935名	101.9%
新横浜駅	6,634 名 ※AIチャットボット対応人数 (うち外国人 1,810 名)	6,995 名 AIチャットボット対応人数 (うち外国人 2,242 名)	-361名	94.8%
合計	297,500 名	287,588名	9,912名	103.4%
うち外国人	23,805 名	23,341名	464名	101.9%

資料10 MICE誘致 商談会セールス実績

種別	商談会・セミナー	開催期日	会 場	商談数
国内	第35回国際 MICE エキスポ (IME2026)	2月12日	東京	16件
海外	IMEX Frankfurt 2025	5月20日～22日	フランクフルト	21件
	IBTM World 2025	11月8日～20日	バルセロナ	34件
	AIME 2026	2月9日～11日	メルボルン	28件

資料 11 キーパーソン誘致・開催支援助成金実績

申請区分	申請件数	助成金額
【開催期】国際会議 (現地参加者50名以上、3か国以上、連続する2日以上、横浜開催が決定している国際会議)	1件	1,000,000円
合計	1件	1,000,000円

- ・助成対象:要件に合致するコンベンションに対して横浜への誘致、開催に係る活動を行う国内のキーパーソン
- ・助成対象経費: コンベンションの誘致、開催に係るキーパーソンの活動に伴う経費。
(デザイン及び印刷製本費、広報宣伝費、会場借上費、渡航費、市内滞在費、市内交通費、アテンド費、アトラクション費、ユニークベニュー会場費、通訳手配費)
- ・助成率・助成額: 助成金予算の範囲内において全額補助

資料12 MICE開催支援実績

横浜コンベンション開催支援助成金実績

申請区分	申請件数	助成金額
国際コンベンション A (現地参加者 300 名以上うち外国人参加者 50 名以上、3か国以上、1日以上)	8件	8,000,000円
国際コンベンション B (現地参加者 50 名以上、3か国以上、1日以上)	13件	6,500,000円
国内コンベンション (現地参加者 50 名以上、全国規模、連続する2日以上、など)	16件	7,873,000円
合計	37件	22,373,000円

- ・助成対象：市内で開催されるコンベンション、要件に合致する国際機関・国際学術団体または国家機関・国内学術団体
- ・助成対象経費：市内事業者から調達したMICE開催経費
(会場備品・機材費、市内宿泊費、横浜らしいギブアウェイ・ノベルティ購入・制作費、貸し切りバス・タクシー手配費、持続可能な調達に係る費用、アトラクション手配費、屋外広告に関する費用)
- ・助成率・助成額：助成金予算の範囲内において全額補助

海外ミーティング&インセンティブ開催応援プラン実績

支援対象	申請件数	助成金額
海外企業またはグローバル企業が主催し、来日する参加者の横浜市内宿泊が 50 人泊以上、など	2件	950,384円
合計	2件	950,384円

横浜インフォメーションデスク設置実績

会議名	デスク設置日程	会議参加者数
CHI 25 (第 43 回人と情報システムの相互作用に関する国際会議)	4月26日～5月1日	5,445 名 (うち海外参加者 4,531 名)
2025 AIPPI World Congress	9月12日～16日	2,800 名 (うち海外参加者2,700 名)
第16回アジア(太平洋)ベテラン卓球選手権大会 Yokohama 2025	10月7日～11日	1,162名 (うち海外参加者 675 名)
2025 IEEE NSS MIC RTSD (2025 年米国電気電子学会原子科学シンポジウム、医用イメージング国際会議、および常温半導体検出器国際会議)	11月3日～8日	1,789名 (うち海外参加者1,395名)
世界腎臓会議2026	3月28日～31日	6,712名 (うち海外参加者4,305名)

資料13 MICE参加者向け市内回遊促進メニュー改訂

メニュー名	内容
中華街コンシェルジュとまわるランチ付き横浜中華街サステナブルツアー	中華街を散策しながら、街の取り組みを学んだ後、ランチは食べ残しを持ち帰る文化「ダーパオ」に着目したツアー
ゆかたde三溪園！セルフフォトグラム	国の文化財×自然が調和した日本庭園「三溪園」を浴衣で散策。写真撮影に加え、着物をリメイクして小物を製作するワークショップを組み合わせたツアー
古都・鎌倉の寺巡りツアー	国宝の鎌倉大仏や竹林で有名な報国寺を巡る行程に加え、「鎌倉の竹」に着目したツアー
歩いて巡る 最新みなとみらいサステナブルシティツアー	みなとみらいの街歩きに加え、世界最先端の都市型循環式ロープウェイ「YOKOHAMA AIR CABIN」とフェアトレードのチョコレートを使ったスイーツを製造・販売している「VANILLA BEANS」に着目したツアー

資料14 MICEビジネス講座開催実績

MICE ビジネス講座 セミナー	内容
[7月25日]	テーマ:「MICE の可能性を知る！横浜でつかむビジネスチャンス」 第1部:「横浜 MICE の今とこれから ～大型コンベンション調査から見えるビジネスチャンス～」 【講師】 株式会社 野村総合研究所 社会システムコンサルティング部長 岡村 篤 氏 株式会社 野村総合研究所 業務・IT コンサルティング部 瀧 将徳 氏 第2部:「MICE で広がる地域ビジネスの未来 ～他都市事例から考える横浜の可能性～」 【講師】 日本コンベンションサービス株式会社 MICE 都市研究所 伊藤 ボン 氏 日本コンベンションサービス株式会社 コミュニケーション デザイン事業部 瀬尾 由佳子 氏 会場:Vlag yokohama Hall 参加者:73名

MICE ビジネス講座 基礎編	内容
第1回 [5月31日]	テーマ:①「MICE ビジネスへの参入」 【講師】 株式会社 茶臼遊空間 代表取締役 今村 由美 氏 ②「MICE の”食”をアップデート -サステナブルな選択と国内外のトレンド-」 【講師】 株式会社 フードピクト 代表取締役 菊池 信孝 氏 会場:横浜市開港記念会館 参加者:24名
第2回 [10月17日]	テーマ:「コンベンションの現場視察」 コンベンションの基礎知識や視察のポイントについて、事務局より解説後、MICE ビジネスの理解を深める国際会議の現場視察ツアーを実施。 会場:【講義】 ビジョンセンター横浜みなとみらい 【視察】 パシフィコ横浜 参加者:24名

MICE ビジネス講座 実践編	内容
第1回 [11月18日]	テーマ:「主催者が語る国際会議の舞台裏」 【講師】 東北大学 電気通信研究所 教授／ SIG CHI 2025 Local Relationship Chair 北村 喜文 氏 会場:ラ・バンク・ド・ロア 参加者:19名
第2回 [12月4日]	テーマ:「国際 MICE の現場で伝わる英語力」 【講師】 有限会社 フルフォードエンタープライズ CEO アダム フルフォード 氏 会場:AP 横浜 参加者:14名

第3回 [12月16日]	テーマ:「国際 MICE の現場で求められる対応力」 【講師】 バリューマネジメント株式会社 Party&MICE 事業／ユニークベニユー事業 統括マネージャー 吉田 寛 氏 会場:Green Park FLOOP(富士フィルムビジネスイノベーション株式会社) 参加者:15名
--------------	--

資料15 ユニバーサルツーリズムセミナー開催実績

開催名 [開催日時]	内容
第1回 ユニバーサルツーリズム研修 [7月2日]	講演1「お客が集まるバリアフリー観光」 講師 中村 元氏(NPO 法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 理事長・水族館プロデューサー・NPO 法人日本バリアフリー観光推進機構 理事長) 講演2「石川県のバリアフリー観光の実践について」 坂井 さゆり氏(NPO 法人石川バリアフリーツアーセンター理事長) ワークショップ 前半「心のバリアフリー実践について(車いす体験、介助体験)」 後半「私ができる心のバリアフリーについて」 会場:日本丸訓練センター 参加者:36名
第2回 ユニバーサルツーリズム研修 [9月21日]	講演1「身体障害者補助犬とは?～横浜市の現状～」 講師 横浜市健康福祉局障害自立支援課 講演2「教えて! ユニバーサルツーリズム ～GREEN×EXPO2027に向けて～」 講師 洲山知弘氏(ユニバーサルツーリズムアドバイザー) 体験研修 アイマスク・車椅子体験 会場:日本丸訓練センター 参加者:42 名

資料16 DMO推進関連ミーティング・ワークショップ開催実績 観光・MICEミーティング

開催名 [開催日時]	内容
第1回 [1月28日]	テーマ「2025 年の横浜観光を振り返る」 第一部 (前半)「2025 年横浜観光を振り返る」 公益財団法人横浜市観光協会 河東 宗平 (後半)「横浜での MICE 開催状況について」 株式会社プリプレス・センター 大谷 仁美 氏 第二部 トークセッション 「地域の事業者と振り返る 2025 年の横浜観光」 [登壇者] 麒麟ビール株式会社 大谷 哲司 氏

	株式会社ディー・エヌ・エー 長野 資正 氏 株式会社ディー・エヌ・エー 西川 貴子 氏 ぴあ株式会社 櫻井 怜歩 氏 会場:Vlag Yokohama 参加者:50 社 55 名
第2回 [3月27日]	テーマ「GREEN×EXPO 2027 および神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン最新情報共有セミナー」 「世界規模の課題解決に貢献」 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 鳥丸 雅司 氏 「DC 活用で事業の磨き上げを」 神奈川・横浜デスティネーションキャンペーン推進協議会 横山 弘 氏 会場:神奈川大学みなとみらいキャンパス 参加者:73 社 91 名

観光・MICEワークショップ

開催名 [開催日時]	内容
第1回 [8月27日]	テーマ「クルーズ観光の現状とクルーズビジネスの基礎知識」 第一部 (前半)「クルーズについての動向および基礎知識について」 公益財団法人横浜市観光協会 カラザーズ ブランドン 慧太 (後半)「船と港をつなぐ人の力」 株式会社カーニバル・ジャパン 船木 健 氏 第二部 ワークショップ 「クルーズ乗船客のカスタマージャーニーを考える」 会場:波止場会館 参加者:20 社 24 名
第2回 [12月17日]	テーマ 「『横浜観光データナビ』で横浜の来訪者傾向を分析しよう！ PC を使ってデータを読み解く活用法勉強会～基本操作から分析まで～」 [登壇者] 横浜市立大学都市社会文化研究科 有馬 貴之 氏 株式会社ヴァリユーズ 和田 尚樹 氏 公益財団法人横浜市観光協会 データ分析専門人材 山口 翔 氏 ※観光庁事業にて派遣 会場:TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 参加者:25 社 27 名

資料17 公式Webサイトアクセス実績

区分	アクセス実績(件)		前年度比
	令和7年度	令和6年度	割合(%)
総ページビュー(PV)数	20,795,518	17,376,975	120%
総ユーザー数	8,644,093	7,258,392	119%
日本(PV)	19,007,084	15,331,161	124%

英語(PV)	1,011,900	1,211,792	84%
繁体(PV)	345,352	422,825	82%
簡体(PV) ※	89,552	61,624	145%
韓国(PV)	137,149	159,966	86%
タイ語(PV)	59,136	61,509	96%
フランス語(PV)	57,204	44,501	129%
スペイン語(PV)	54,046	46,730	116%
インドネシア語(PV)	34,095	36,867	92%

※簡体字は中国系AIクローラーのアクセスが影響。除外設定をした数値であるが、完全には除外が難しいため、一部影響が含まれている可能性あり。

資料18 SNSを活用した情報発信実績

※令和8年3月31日現在の登録数

facebook フォロワー数	日本語	英語	中国語繁体字
	83,553	50,704	6,760
 フォロワー数			中国語簡体字
			73,344
 WeChat フォロワー数			中国語簡体字
			3,461
 旧twitter フォロワー数	日本語		
	33,816		
Instagram フォロワー数	日本語		
	38,712		
 フォロワー数			中国語簡体字
			10,799

資料19 メディアリレーション実績

主な掲載・放送等

掲載日	媒体種類	媒体名	媒体社	掲載内容
8月29日	新聞	日本経済新聞	日本経済新聞社	プロポーズの聖地・横浜 非日常空間で演出、プロがサポート
9月2日	新聞	公明新聞	公明新聞社	YOKOHAMA PRECIOUS FLOWERS
10月1日	TV	猫の額ほどワイド	テレビ神奈川	YOKOHAMA PRECIOUS FLOWERS「二人だけの特等席」
10月11日	新聞	ブライダル産業新聞	ブライダル産業新聞社	記念日コンテンツの案内強化
10月30日	TV	tvk「NewsLink」	テレビ神奈川	「花の港」フラワークルーズ開催
10月30日	新聞	観光経済新聞	観光経済新聞社	「花の港」フラワークルーズ開催
10月31日	新聞	神奈川新聞	神奈川新聞社	「花の港」フラワークルーズ開催
11月1日	新聞	東京新聞	東京新聞社	「花の港」フラワークルーズ開催
11月13日	TV	ZIP!	日本テレビ	YOKOHAMA PRECIOUS FLOWERS「二人だけの特等席」

12月6日	TV	ジモトトピックス	株式会社ジェイコム 湘南・神奈川	理事長インタビュー(会員の集い)
通年	ラジオ	マリンFM 「ヨコハマ Voice Street」	横浜 マリンエフエム	週末イベント紹介
3月17日	ラジオ	加藤雄介横浜ポ ップ」	ラジオ日本	花の港イベント告知
3月26日	ラジオ	【YOKOHAMA AIR CABIN】に 行ってミホ！	ニッポン放送	フラワーエアキャビン紹介

資料 20 DMO を対象とした国費の活用

申請案件	件名	活動内容	時期
クルーズ等訪日旅客の受入促進事業	横浜港「外国船向けクルーズコンシェルジュサービス」～インバウンド旅客等満足度向上と経済波及効果の最大化を目指すプロジェクト～	・YCVBウェブページ、SNSでの情報発信	4月～3月
地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業	Yokohama Silk Renaissance-横浜シルクロードの饗宴 横浜究極のレセプションパーティー造成～濱自慢100周年・江戸街道の軌跡・GREENエキスポ2027への架け橋～	・プラン造成支援 ・YCVBウェブページ、SNSでの情報発信	5月～2月
令和7年度観光振興事業費補助金 全国の観光地・観光産業における観光DX推進事業_専門人材による伴走支援	観光DX推進における専門人材による伴走支援業務	・地域事業者の求める観光データの適切な提供とデータ活用人材の内製化による、持続的な観光まちづくりの実現	8月～12月
令和7年度『MICE開催地としての魅力向上事業(二次)』	横浜MICEエリア強化事業～中核拠点とサテライトエリアの多拠点化による相互補完～	・YCVBウェブページ、SNSでの情報発信	10月～2月